

2020 年 12 月 9 日

## CDP から環境対応の最高評価を 2 分野で獲得 「Climate Change A List 2020」「Water Security A List 2020」

ナブテスコ株式会社(本社:東京都千代田区、社長:寺本克弘)は、国際NGOである「CDP」により、地球環境問題への対応と戦略において特に優れた活動を行っている企業として、「気候変動」分野および「水」分野において、最高評価のAリストに選定されましたのでお知らせします。気候変動分野は5年連続、水分野は2回目となります。

CDPは、運用資産総額106兆米ドルに達する世界の515の機関投資家を代表し、企業の環境に関する取り組みの情報を収集、評価しています。2020年には、世界の時価総額の50%強となる9,600社以上の企業が、CDPを通じて環境情報を公開しています。

当社は、2016年12月に、2030年と2050年までのCO<sub>2</sub>排出削減の長期目標を策定しました。この目標は、「パリ協定」\*1で設定された「2℃目標」\*2に整合するものとして、「Science Based Targets (SBT) イニシアティブ」\*3より承認されています。徹底した省エネ活動をグローバルに展開し、高効率な設備の導入・更新、最新の環境技術を採用した工場建屋の新築・建て替え等を通じて、CO<sub>2</sub>削減にグループ一丸となって取り組んでいます。

また、自社と国内外のサプライチェーンにおける複数の水関連リスクの評価、水関連活動の定量・定性目標の設定、取水・排水量の管理、排水時における徹底した水質管理等を実施し、水資源の保全に取り組んでいます。

今後もナブテスコは、持続可能な社会の実現に向けて、環境・社会の諸課題の解決に取り組む、さまざまな活動を推進してまいります。

- \*1 第21回気候変動枠組条約締約国会議(COP21)が開催されたパリにて、2015年12月12日に採択された2020年以降の気候変動抑制に関する多国間の国際的な協定。
- \*2 世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つという目標。パリ協定における国際的目標となっている。
- \*3 「2℃目標」達成を可能とする水準で企業が中期目標(5年~15年先の目標)を設定することを促進する枠組み。



CLIMATE



WATER

(参考) 気候変動 A リストと水 A リストの一覧とスコアは下記 URL よりご確認ください。

<https://www.cdp.net/en/companies/companies-scores>